



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2025年
No.9
事例1

調剤

処方箋の確認漏れ



事例

【事例の詳細】

平素より当薬局を利用している90歳代の患者の家族が来局し、ロナセンテープ20mgが記載された処方箋1枚を薬局に提出した。交付時に、患者の家族から、未提出の処方箋が残っていたと申し出があった。その処方箋にはクロピドグレル錠75mgとクエチアピン錠25mgが記載されており、右上に「1/2」と印字されていた。薬剤師が改めてロナセンテープ20mgが記載されている処方箋を確認すると、右上に「2/2」と印字されていた。

【背景・要因】

患者の処方箋を応需したのは、薬局の営業時間外であった。閉店業務中であり、集中力を欠いていた。処方箋の右上には「2/2」と通し番号が記入されていたが、文字が小さく気付かなかった。

【薬局から報告された改善策】

処方箋を応需した際、処方箋の通し番号も含め、記載されたすべての事項を確認するという手順になっていたが、それが守られていなかったため、改めて手順についてスタッフに周知し徹底するよう伝えた。



事例の ポイント

- 本事例は、医療機関から処方箋が2枚発行された際、2枚目のみを応需した薬局が処方箋の通し番号を確認せず、1枚目の処方箋の存在に気付かないまま調剤を行った事例である。
- 処方箋を応需した際は、処方箋の通し番号や「次頁あり」「前頁あり」「以下余白」などの文言を確認し、発行された処方箋が全て揃っているか確認することが重要である。繁忙時や閉店業務中という通常とは異なる状況下においても遂行できるよう、確認項目をリスト化し薬局内に掲示するなどの対策を行うことが望ましい。
- 本事業に報告された、患者が処方箋の一部を提出し忘れた事例には、薬剤師が患者から症状や服薬状況を聴取したことにより処方箋の提出漏れに気付いた事例もある。
- 薬剤師は、薬剤服用歴やお薬手帳、患者から収集した情報をもとに処方監査を行い、患者による処方箋の提出漏れや医療機関での処方箋の交付漏れがないかを確認することが重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqhcc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2025年
No.9
事例2

調剤

自己注射の手技の確認不足



事例

【事例の詳細】

薬剤師は30歳の患者から、使用中のランタスXR注ソロスターのカートリッジ内に浮遊物があることを聴取した。患者が持参した薬剤を見せてもらおうと、カートリッジ内に浮遊物が確認できたため現品を預かり、製造販売業者に調査を依頼した。調査の結果、浮遊物は血液で、注射時に患者の血液が逆流していたことが判明した。患者に調査結果を伝えて手技を確認したところ、患者が注射後、皮膚から注射針を抜く前に注入ボタンから手を離していたことがわかった。薬剤師は、注入ボタンを押したまま注射針を皮膚から抜くように改めて説明した。

【背景・要因】

患者は以前よりランタスXR注ソロスターを使用していたため、薬剤師は患者が自己注射の手技を理解していると思い込み、交付時に基本手技の確認を行っていなかった。

【薬局から報告された改善策】

自己注射薬を長期間使用している患者にも、定期的に手技を確認する。



その他の情報

インスリン製剤の調剤にあたっての留意事項及び薬剤交付時の説明事項（使用方法、保管等）に関する解説*（平成23年5月改訂）（一部抜粋）

III. 患者指導のポイント

8) 注入時の注意事項

注入後：

インスリンを確実に注入するために、注入後は、5～10秒以上注入ボタンを押したまま保持した後、注入ボタンを押したまま針を抜きます。針を抜く途中で注入ボタンから指を離すと、血液がカートリッジ内に逆流する恐れがありますので、針を抜くまで注入ボタンは押したままにします。

※日本薬剤師会



事例のポイント

- 患者は、自己注射を長期間使用しているうちに注射時の注意事項を忘れてたり、手技を自己流に簡略化したりする可能性がある。薬剤師は、患者が薬剤の注射方法や管理方法を理解し正しく使用できているかを定期的に確認し、薬剤服用歴に記録を残して薬剤師間で共有する必要がある。
- 本事業に報告された自己注射薬に関する事例には、血液の混入の他に、注入時に薬液が出ない、注入ボタンを押すと重く感じるなどの患者からの申し出に薬剤師が対処した事例がある。
- 自己注射薬に不具合や異常が生じた場合は、患者が誤った方法で薬剤を使用・管理している可能性がある。使用時に何か異常を感じた場合は速やかに医師や薬剤師に相談するよう、患者にあらかじめ伝えておく必要がある。薬剤師は、適切な薬物治療が安全に継続できるように支援することが重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqhcc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2025年
No.9
事例3

疑義照会・処方医への情報提供

病態禁忌



事例

【事例の詳細】

普段は他の薬局を利用している30歳代の女性患者に、医療機関Aからドンペリドン錠10mg「JG」が処方された。薬剤師は、患者からの聴取およびお薬手帳の確認により、患者が医療機関Bでプロラクチン分泌性の下垂体腫瘍の治療中であることを把握した。ドンペリドン錠10mgはプロラクチン分泌性の下垂体腫瘍の患者に禁忌であるため、処方医に疑義照会を行ったところ、メトクロプラミド錠5mg「トーフ」に変更となった。

【推定される要因】

ドンペリドン錠が禁忌となる病態について、医療機関Aの処方医による確認が漏れた可能性がある。

【薬局での取り組み】

患者からの聴取、薬剤服用歴やお薬手帳の確認などにより、現病歴・既往歴、併用薬などの情報を収集し、処方内容が適切であるか検討する。患者にお薬手帳の有用性を説明して活用を促す。



その他の情報

ドンペリドン錠5mg/10mg「JG」の添付文書 2025年5月改訂（第4版）（一部抜粋）

2.禁忌（次の患者には投与しないこと）

2.3 プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）の患者〔抗ドパミン作用によりプロラクチン分泌を促す。〕



事例のポイント

- プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）は、乳汁分泌作用のあるホルモンであるプロラクチンが過剰に産生される下垂体腫瘍である。本事業には、プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）の患者に禁忌であるドンペリドンやスルピリドが処方されたため、処方医に疑義照会を行った事例が2020年4月1日～2025年6月30日に16件報告されている。報告された薬剤は、ドンペリドンが13件、スルピリドが3件であった。
- 患者は、自身の現病歴を正確に記憶していない場合や、把握していても、医療機関で医師に伝えない場合がある。薬剤師は、患者に情報共有の重要性を伝え、お薬手帳に現病歴・既往歴・副作用歴などを記載して、医療機関や薬局で毎回提示するよう説明する必要がある。
- 安全で有効な薬物治療を行うため、薬剤師は現病歴・既往歴や併用薬、副作用歴などの情報を患者から収集し、それらの情報を考慮したうえで処方内容の妥当性や服用中の薬剤による副作用発現の可能性を検討することが重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqhcc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。